

---

## 「低価格・高リスク」の非純正バッテリーに注意

～建物が全焼に至った火災も～（消費者庁HPより）

---

近年、繰り返し充電して使用できる「リチウムイオン電池搭載製品」は、私たちの生活に欠かせないものとして普及が進んでいます。その一方で、安価で入手しやすい「非純正バッテリー」で火災を伴う事故が多く発生しています。これを踏まえ、非純正バッテリーに潜むリスクをお伝えします。

### 【概要】

2014年から2023年までの10年間に収集された製品事故情報では、非純正バッテリーによる事故は235件ありました。事故のほとんどが火災事故(235件中227件)に発展し、中には建物が全焼する事故も発生しています。

バッテリーには可燃性の電解液が含まれており、一度発火すると大きな火災に発展するおそれがあります。非純正バッテリーは純正品に比べて“低価格”のものも多いですが、これらの中には安全対策や品質管理が不十分な“高リスク”のものが潜んでいることを認識しましょう。

### 【気を付けるポイント】

#### ■非純正バッテリーが抱えるリスクについて理解する

○設計に問題があり、異常発生時に安全保護装置が作動しない場合がある。

○品質管理が不十分で、通常の使用であっても事故に至る場合がある。

○事故が発生した際に、事業者の対応や補償を受けられない場合がある。

#### ■メーカーからのお知らせ及びリコール情報を確認する

○バッテリーを取り付ける機器本体のメーカーのホームページに非純正品に関する注意喚起が掲載されているか確認する。

○使用しているバッテリーがリコール対象ではないか確認する。

=====

大分県消費生活・男女共同参画プラザ（アイネス）

〒870-0037 大分県大分市東春日町1番1号（NS大分ビル内）

TEL：097(534)4034 FAX：097(534)0684

ホームページ：<http://www.pref.oita.jp/soshiki/13040/>

E-mail：oita-shouhi@pref.oita.lg.jp

---

☆ **メルマガバックナンバー**（これまでの配信内容は、こちらからご覧ください）

<http://www.pref.oita.jp/site/syohi-senta/mailmaga.html>

---

☆ Facebook で暮らしに役立つ最新情報を発信しています！

★ Facebook に登録していなくても、見るすることができます。

<https://www.facebook.com/oita.iness>

---

～「ながら見守り」にご協力ください～

子ども達を犯罪被害から守るために、「気楽に」「気長に」「危険なく」自分のペースにあわせた見守り活動を始めてみませんか？

ウォーキングや犬の散歩、花の水やり、仕事などをし「ながら」、子どもを見守り、不審者を地域のコミュニティに入らせないようにしましょう。

---

### 【消費生活に関するご相談は・・・】

#### ☆ 市町村の消費生活相談窓口

県下すべての市町村で、消費生活センターや相談窓口が設置されています。

次の消費者ホットラインは、全国どこでも、お近くの市町村や県の相談窓口をご案内します。お気軽にご相談下さい。

《 消費者ホットライン：188 》

#### ☆ 大分県の消費生活相談窓口

※メールやファックスでは受付しておりません。

##### ◇ 消費生活等相談（契約、販売方法、多重債務、消費生活に関する相談）

- 受付時間：月～金曜日（祝、休日をのぞく）9：00～17：30
- 相談電話：097-534-0999

##### ◇ 消費生活日曜相談

- 受付時間：日曜日（第3日曜をのぞく）13：00～16：00
- 相談電話：097-534-0999（電話相談のみ）

##### ◇ 食品表示110番（不審な食品表示に関する情報、食品表示に関する質問など）

- 受付時間：月～金曜日（祝、休日をのぞく）9：00～16：30
  - 相談電話：097-536-5000
-

☆ **メルマガ登録者を募集しています！**

配信ご希望の方は、お名前、市町村名、「PC版または携帯版」の配信希望と書いて、  
下記メールアドレスあて送信してお申し込みください。（配信停止も同様）

○申込先 → [iness.csm@pref.oita.jp](mailto:iness.csm@pref.oita.jp) （メルマガ専用アドレス）



令和6年6月27日

## 「低価格・高リスク」の非純正バッテリーに注意 ～建物が全焼に至った火災も～

近年、繰り返し充電して使用できる「リチウムイオン電池搭載製品」は、私たちの生活に欠かせないものとして普及が進んでいます。その一方で、安価で入手しやすい「非純正バッテリー」で火災を伴う事故が多く発生しています。これを踏まえ、「非純正バッテリー」に潜むリスクをお伝えします。

### 1. 概要

2014年から2023年までの10年間に収集された製品事故情報<sup>1</sup>では、「非純正バッテリーによる事故<sup>2</sup>」は235件ありました。事故のほとんどが火災事故(235件中227件)に発展し、中には建物が全焼する事故も発生しています。



電動アシスト自転車用非純正バッテリーから発火する様子（再現イメージ）  
（※資料中の全ての画像は実際の事故とは関係ありません。）

バッテリーには可燃性の電解液が含まれており、一度発火すると大きな火災に発展するおそれがあります。事故のリスクを減らすには、安全保護装置の適切な設計や品質管理等が不可欠ですが、非純正バッテリーの中には、安全対策や品質管理が不十分で事故のリスクが高いものがあります。また、事故発生後に事業者の補償を受けられない、事業者と連絡が取れないなどの事態も発生しています。

非純正バッテリーは純正品に比べて“低価格”のものも多いですが、これらの中には“高リスク”のものが潜んでいることを認識しましょう。

#### ■ 非純正バッテリーが抱えるリスクについて理解する

- 設計に問題があり、異常発生時に安全保護装置が作動しない場合がある。
- 品質管理が不十分で、通常の使用であっても事故に至る場合がある。
- 事故が発生した際に、事業者の対応や補償を受けられない場合がある。

<sup>1</sup> 消費生活用製品安全法（昭和48年法律第31号）に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度によりNITE（（独）製品評価技術基盤機構）において収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

<sup>2</sup> 非純正バッテリーの関与が確認されたものだけでなく、状況証拠から関与が疑われるものも含みます。

## 【資料中の用語の定義について】

### ■リチウムイオン電池搭載製品とは

リチウムイオン電池搭載製品とは、リチウムイオン電池を動力源にして使用する製品全てを指します。リチウムイオン電池は、小型化しても十分な電力を確保することができ、使用した後にまた充電して繰り返し使用することができる大変便利な電池であるため、様々な製品に搭載されています。

### リチウムイオン電池搭載製品の例



### ■非純正バッテリーとは

本資料では、機器本体のメーカーとは無関係の事業者から販売されているバッテリーで、機器本体のメーカーが、そのバッテリーの設計や品質管理に一切関与していないものを「非純正バッテリー」とします。純正品と類似した形状をしており、「互換バッテリー」、「純正充電器対応」などと称して安価で販売されており、リスクの高い製品も含まれます。

- ☑ 純正品に比べて極端に安くなっていないか
- ☑ 事業者の連絡先が正しく記載されているか
- ☑ 製品説明の日本語がおかしくなっていないか
- ☑ PSEマークに事業者名が併記されているか

リスクの高い非純正バッテリーを見分けるポイント



非純正バッテリーの表記例 (イメージ)



正しいPSEマークの例